

## 平成29年度第3回瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議議事録

1. 日時 平成29年10月4日(水) 10:00～11:45
2. 場所 瑞浪市役所 4階全員協議会室
3. 出席者 橋本 孝晴 (座長)  
高橋 宗彦  
今井 浩光  
佐伯 淳一  
柴田 勝久  
安藤 雅子  
加納 明子  
小倉 恭子  
安藤 幸広  
正村 和英  
[名簿順、敬称略]
4. 事務局 梅村 修司(企画政策課長)  
加藤 昇 (企画政策課企画政策係長)  
奥村 香織(企画政策課企画政策係)
5. 日程
  1. 議事
    - (1)第2回会議議事録(案)について
    - (2)まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議意見書(案)について
  2. その他

事務局            それでは定刻となりましたので、平成 29 年度第 3 回瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を開催します。

本日傍聴者はありませんが、本会議は、公開とされておりますので、ご了承ください。  
はじめに、橋本座長よりごあいさつをお願いします。

座長                皆さん、ご苦労さまでございます。

本日はご多用のところ、ご出席いただきありがとうございます。前回までに、「瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略」掲載事業のうち 15 事業について、担当課の 1 次評価の説明を受けました。委員の皆さまにおかれましては、2 次評価を行っていただきましてありがとうございます。本日は、皆さまの評価について意見交換を行い、これら事業の実効性を高めていきたいと思っておりますので、忌憚のないご意見を賜りますよう、また、有意義な会となりますようよろしくお願いいたします。

事務局            ありがとうございます。

レジメに沿って進めさせていただきます。議事事項に移ります。以降は、座長に進行していただきます。

座長                それでは、着座にてこれより進行役を務めます。

議事事項 1(1) 第 2 回会議議事録(案)について、事務局より説明願います。

事務局            企画政策課の加藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、資料 1「第 1 回瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議録(案)」をご覧ください。これは、8 月 10 日に開催しました第 2 回瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の会議録案であり、今後は、委員各位ご承認後、ホームページなどで公表させていただきますこととなりますので、内容確認のうえ、ご承認に頂ければと思います。ご確認をお願いします。

資料は事前に郵送させていただいたものです。よろしくお願いいたします。

座長                第 2 回の会議録の確認ということですが、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。  
皆さんにいただいた意見がほぼ反映されているように思いましたが、いかがでしょうか。

<2 か所指摘事項あり>

座長                他はよろしいでしょうか。それでは、第 2 回の会議録については、これをもって確定とし、公表することとします。

それでは、(2)の 2 次評価に対する意見交換について、に進みたいと思います。

ではまず、「1:妊婦健康診査助成事業」についてですが、これについては 1 次評価が A ということでしたが、B や C の評価もありますので、その辺りご意見いただければとおもいます。

委員 すみません、私は C 評価をつけましたが、事業そのものを評価していないということではなく、評価はしていますが、この制度はどこでもあるので、特に取り上げて、という感じがしました。

委員 私も同じで、おっしゃられたように地方創生している特徴的な事業かどうかと、ごく広く国で取り組んでいることだと思いました。

座長 この事業は、瑞浪市が特別に独自でやっているということではないですね。

委員 もう1つ言わせていただければ、産後検診も対象にさせていただきたいです。

座長 特にこういった意見は各課で対等、検討していただけるということで良いですね。

事務局 ご指摘の通り、A評価でもC評価でもご意見の内容は各課に伝えて、対応できるものについては今後、検討していきたいと思っております。

座長 そうですね、評価が A の事業はいいですが、そうでないところはきちんと伝えていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。何かご意見よろしいでしょうか。

それでは、これで確定したいと思います。

続いて、「2:みずなみ健康 21 推進事業」について、何かこちらについてご意見ある方はお願いします。

委員 30代40代で生活習慣病を発症する方は多いと思います。禁煙の取組みというのは20代から吸っていて、周りから言われて禁煙する方になると思いますが、30代40代の健診率を上げることによって喫煙が原因の発症してくる病ですとか、他の病気が洗い出せると思います。ですので、30・40代の健診にもっと重きをおいて、それによってこれから病気が発症しそうな方へ指導していくというのが良いと思います。だから、たばこを吸っている方全員という発信ではなく、健診に引っかけた方に対して発信する等で、指導していくのがいいかなと思います。

座長 健診後の指導ということですね。自分もまだまだ事業の周知徹底が不足していると思い、C評価を付けました。やっぱりおっしゃったように健診で引っかけた後の対応とどうするかが非常に大切ですので、取り組んでいただきたいと思います。

委員 仕組み作りが難しいですよ。健康に興味のある方は参加して下さると思いますが、興味がない方をどうやって参加させていくのかというのが難しいですよ。この間も陶の方から大学へ一人暮らしの男性に向けての事業を考えているという話がありましたが、そういった方は「先が長くないので、好きなものを食べたい」という方もいらっしゃるかな。こ

ういった事業に参加する方は健康意識があつて参加していただけますが、その意識がないと難しいですね。

座長 私も2月の健康診断後に、体重を減らしました。これはやっぱり自分の意識の違いだと思います。痩せることで体調も良くなりますし、そういった意識をどう高めていくかが問題だと思います。

みなさんのC評価の理由も同じような感じということで、よろしいですかね。

では、次の「3:福祉医療費助成事業」について、ご意見いただきたいと思います。

委員 これについて、以前ご説明いただいた際、他市に先んじて行ったということでしたが、今はどこもやっている。私、実は大垣市に住んでおまして、大垣市は高校まで医療費が無料になっています。

瑞浪市の大きな特徴として、瑞浪高校も含めて、市の中に3校もあります。仮に高校までバックアップされればこの市に住みたいという方がちょっと増えていくではと思います。市内の高校に行くとは限りませんが、瑞浪市に住みたくなる要素としては魅力的なのかなと思います。高校までやっていただけると非常にありがたいと強く思います。

委員 私も、実は大垣市民で、実感として自分の息子が中学・高校と部活動で怪我することも増えてきて、そういったときに高校まで医療費が無料というサポートがあるというのは良いなど実感しました。それを知って移住してくる方もいらっしゃると思いますし、そういった点で移住定住のアピールになると思います。もちろん、どこまで財源がという問題もありますが、高校までの医療費というのは効果があるのではないかと思います。

座長 私もこれはどこの市町村もやっていることですから、何か特別なことがないので厳しい評価をしましたが、財源等の問題もあるでしょうが、何か特別な取組みもあつていいかなと思っています。

委員 僕もこれはこのままで、どこでもやっていますけど。

もし、もう1つ加えるなら、子供が誰かを傷つけてしまった場合の保険なんか少しやってもらえるといいかなと思います。例えば、問題になっていたこともあります。自転車で事故などありますし、安い費用でやってくれるところもありますし、そういうのも1つどうかと思います。この事業はどこもやっていますから、何か特別な取組みということなら、そういうことも可能かなと思います。

委員 すみません、今のご意見ですが、地域懇談会「市長と語る会」を各地区で行うと、高校生までの拡大を希望する意見を多々いただきます。今回こういうご意見をいただきましたので、改めて担当課に検討を指示します。

座長 ありがとうございます。

本当に財源の問題がありますから、できる限りのことをお願いしたいと思います。

それでは、次の「4:奨学金給付事業」についてご意見いただきたいと思います。いかがですが。

委員 勉強したくてもできない方が増えているので、このまま継続してやっていただきたいと思っています。

委員 やっぱり戻ってきてもらわないと意味がないので、そういった策を考えていかなければと思います。お金を出すだけでなく、こちらに戻ってくるなにか。

座長 そうですね。行きっぱなしじゃなくて、せつかくならこっち帰ってきて就職してくれるとか、そういったことが必要だと思います。

委員 このお金は寄附からものでしたよね。

事務局 加知奨学金というのは寄附を原資に、原資も使いながら利息等で運用しています。

委員 あと何年くらい持ちますか。先細りになってしまいますよね。

事務局 3億円の寄附が原資ですが、今は利息だけでは運用していけるものではないので、何年先かには。

奨学金は2種あり、高校生向けの者は市負担で行っておりまして、大学生向けの奨学金が寄附を原資にしております。この寄附をくださった方の意向に沿って、運用しております。

委員 寄附のは、今ある分だけですね。

事務局 そうですね。

座長 金融機関さんもこういった奨学金等の制度がありますかね。

委員 そうですね。今、奨学金というのは給付型が増えてくる中で、財源の問題もありますし、寄附者の方の意思というのがあるとは思いますが。将来的に瑞浪に戻って来られる方を優先に奨学金を交付というのは難しいのですが、これから考えながらやっていかなければいけないかなと思います。子どもたちにも人生がありますから、瑞浪だけに縛ってしまうわけにもいかなないですが、瑞浪の人口が減ってきている中で、若い世代に戻ってきてほしいという思いはありますから、1つの手段としてどうかとは思っています。

委員 大学としましては、最近では日本学生支援機構の支援を受ける学生も増えてきてまして、経済的に苦しい家庭で、でも勉強したいという方も増えてきているので、財源の可能な限りはこう

いった制度は継続して、より多くの子が貰えるようにしていただきたいです。

できたら東濃 5 市が共同して、東濃地区に卒業後就職であるとかそういう形で、1 つの市では縛りが強くなってしまいますので、東濃 5 市に声掛けなどして、そういった広がりの中で、保育士とか看護師とかが東濃地区の保育園、幼稚園、病院などに勤めてくれれば地元就職者を増やすということになるになるので、ぜひとも継続してやってほしいと思います。

座長 ありがとうございます。そうですね、なかなか単独では、連携してやっていただくのもひとつの手ですね。これはどこの市町村、東濃 5 市でもやっていますか。

委員 各市によって、職種に限定した支援がありますよね。中津川市では保育士に対して、就職する場合ですとか。資格を取ってそこに就職する方に対してというのは増えつつありますが、それは限定になってしまうので、なかなか難しいかなと思います。

座長 いずれにしてもこれは継続していただいて、将来的にこの東濃で就職してもらえるようにしていくのが、非常に大事かと思います。事業は、継続ということでよろしく願います。皆さんもよろしいですかね。

では、続きまして「5:有害鳥獣被害防止対策事業」について、ご意見いかがでしょうか。

委員 瑞浪市は自然豊かな市だと思います。移住しなくても 1 日観光でトレッキングしたり、サイクリングしたりとか、遊ぶことが出来るまちだと思います。そういうことで市も発展していけたらと思いますので、1 次産業をしている方をもっと大事にして、農村地区を保存してほしいと思うので、この取組みはずっとしていただきたいと思います。

委員 昨日、ある農業をやっている方とお話ししましたが、やっぱりイノシシの被害はとても多いと聞きました。せっかく育てたものが荒らされてしまうと。まだまだこの事業を継続して、更に広げて続けてやっていただかなければと実感しました。

座長 私も、年間 700 頭くらい捕獲されていると聞くと、まだまだだと思います。

委員 離農されれば、どんどん荒地になってしまいますよね。今の農業を守ってほしいと思いますね。

座長 いかがでしょうか。これは皆さん A 評価をつけてますし、このまま継続でよろしいでしょうかね。よろしく願います。

では、続いて「6:瑞浪市生物多様性保全事業」これについて、いかがでしょうか。

委員 これは、このまま終了ということですが、黒の田というか、瑞浪市全体で環境保全については、やってほしいと思います。

屏風山や竜吟湖など、他のところも手入れされていない場所もありますし、他県ナンバー

の方が来ているのも見るので、そこを整備していただけると、イノシシ対策としてもいいと思いますので、やってもらえればと思います。

座長                    これについては終了でいいですが、もっと新たなところを選定して、ということですね。

委員                    この事業自体は国庫支出金で、もう終了したということですよ。これでいいと思います。

座長                    ありがとうございました。では、これで確定とします。  
それでは、「7:高齢者移送サービス事業」について、いかがでしょうか。

委員                    私も瑞浪市ではなく、過疎地というか、そういう地域に住んでおまして、高齢者が移動するというのは非常に困難で、それを考えるとせっかくいい取組みがあるので、利用者がいないというのが、もう少し何か。利用しなければいけない人たちが、制度を知って申し込めるように見直して欲しいというのがあります。

座長                    まだ知らない方がいる。きちんと伝わっていない方があるかもしれませんね。

委員                    それに、体が動かない方で、リフトに乗ってまで移動したいという気持ちあまり起こらないのではないかなと思います。そういったことも大きいと思います。

委員                    車いす等の補助がいる方は、身近な家族がいないと不安なことが多いと思います。私の亡くなった父も、車いすでしたが、どこに行くにも家族と一緒にないと行けませんでした。一人暮らしの方ですとか、そういう方たちがすぐに、若者は携帯などですぐに申込みが出来るでしょうけど、簡単に申し込めるようにしないといけないと思います。

委員                    現実、車いすにも乗れなくて寝たきりで、寝たままどこか行くと言えば、定期的な病院かなと思います。となると、急性期の方は入院していると思うので、慢性期の寝たきりの方については、かなり限られてくると思いますので、対象者は限られてくると思います。  
ですので、月で回数制限があったとおもいますが病院への定期的な受診は回数を限らず全て補助してはどうかと思います。定期的な受診以外は容体が急に変わった時だけで、救急車だと思いますから。

事務局                ご指摘の通り、対象者はかなり限られてくると思います。寝たきりの方が月に何回というものですから、制度拡大するとそういった方向しかないと思います。ご指摘の部分は担当課に伝えます。

委員                    逆にもっと訪問看護に力を入れてはどうですか。

事務局                車いすとか障害の方については、別の助成の制度がありますので、そちらを利用して

いると思います。

委員 移動すると、体が弱ってしまうと思います。僕の身内にも寝たきりの者がおりますが、動かすと悪くなってしまうので、お医者さんに来ていただいていますので、そういった助成の方がいいのではないかと思います。

委員 事業概要というところに、「必要とする高齢者が気軽に」というよく使う言葉ですが、今おっしゃられているとおり、必要としなければ、必要ないというものですが、見直し改善の方向がどこを向いているというのが、ポイントだと思います。

行政の施策の方向がずれることもあると思います。今色々な方のお話を聞いていると、そもそも実態がかみ合っていないのかなという気がします。必要とする内容でないから、利用者が少ない。だから、全体的に高齢者をどうケアするのかを瑞浪市として考えていると思いますが、この部分について、今こういう状況であるならば、今までのやり方ではだめだったということだと。実際にはこれ数万しか使われていない。

座長 私も、寝たきりの方が出ていくという行為をしないと思います。やっぱり来てもらう方向の方がいいかなと。対象者がいても、使わないのではと思います。自分がもし、そうなった場合、やはり出ていかないように思います。

委員 ここにある事業概要に、高齢者の日常生活を支援するためとありますが、私の地域でも車の運転が危ないから免許書を返させることがあります。そうすると高齢者の移動手段がなくなってしまう。ハイエースみたいなものが、高齢者が町の中に出てく為の循環をしてくれたら、安心して高齢者の方たちも安心して返上して、生活することができると思います。最初の目的が高齢者の日常生活の支援というものであるならば、リフト付タクシーでなくてもいいのかなと思いますね。

委員 私の個人的な考えですが、高齢者ご本人が知らないというのも利用が少ないことに繋がっていると思いますが、実際は高齢者が自発的に使うというより、ご家族が利用依頼することが多いと思いますので、家族に周知するという方法も工夫していかないといけないと思います。おそらく働き盛りの人たちが高齢者を抱えていると思いますので、ご家族にどう伝えていくのが問題だと思います。

座長 ありがとうございます。

色々な方向があると思います。これだけ利用客が少ないというのは、この事業自体に問題があるのではと思いますので、とりあえずこれは見直しということで確定させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

次の「8:防災情報通信システム整備事業」について、皆様のご意見を聞きたいと思います。

委員 やっぱり無償貸与が全国初のことなので、もっと広めていくべきだと思います。他の部署とも連携してほしいと思います。

委員 高校というのは防災への対応として、中学校も同じかと思いますが、すべての警報が出たときに、例えば学校に来る前なら来てはだめとか、学校にいる場合では待機とか、最近は何アラート、防災というのは学校が対応するものが増えてきている中で、瑞浪市がご家庭に貸与するものなんだろうが、なんとかその辺りがリンクするといいと思います。高校は高校で動きますが、実際にそれが伝わっているのかどうか。瑞浪市だけの問題ではなく全体の問題かと思いますが、強く思います。今年に入ってゲリラ豪雨に対応することが3件くらいありましたが、当然瑞浪市のお子さんだけではなく、土岐市や他市のお子さんも、そういったこともありますので、そういった情報がさっと流れるといいなと思います。

事務局 ちなみに、高校にはこの防災ラジオはありますか。

委員 はい。

座長 今年は特に今までにない気象でしたね。情報を共有するというのは非常に大事ななと思いますね。

委員 今、ふと思いつきましたが、このラジオの情報に JR の情報なども、入ってくるとありがたいです。大学はどうしても生徒の通学範囲が広がってきますから、1 番困るのが JR が止まってしまうことですので、状況を見て、警報が出てない状態でも判断をしなければなりません。もしこの防災ラジオが JR と提携・連携して、その情報が早く伝わってこればと思います。うちの職員の子どもで名古屋に行っておりませんが、こちらまで戻れず迎えに行くことがあり、運行情報が市内にいる親に必要な場合もあると思います。JR の情報と絡んでくれると非常にありがたいなと思います。

座長 おっしゃる通りで、最近 JR がよく止まります。ちょっと降ると止まってしまって、今年 2 回ほどそういう場面に出会いました。何かそういう情報にリンクがあるといいですね。JR が止まってしまうのも、過去と比べてすごく多くなったなと思います。

委員 防災ラジオって、今どんな情報が流れているんですか。

事務局 防災、気象情報と非難情報を流しています。

委員 聞き流してしまうことがあって。

事務局 防災ラジオは聞き直しボタンがあります。押すと直前の流れた情報を聞くことができますので、使っていただければと。

- 座長 小中学校の情報等は流れないのですか。
- 事務局 ラジオからは流れませんが、野外の無線では各地区限定で情報が流れることはあります。なかなかラジオですと、皆さんが混乱するということがありますので。
- 座長 ラジオが鳴るとドキッとしますもんね。  
いずれにしても、これは全国初の試みということで、評価したいと思います。よろしく願います。  
続きまして、「9:移住定住相談窓口」について、お聞きしたいと思います。
- 委員 相談窓口を各所で開催したことや、パンフレット等はとても良かったと思います。  
私自身は実際の窓口を見たことがないので、どんなところで、どんなふうにやっているかというのは分からないのですが、情報を発信するのは大切だと思いますので、事業としては継続してもらいたいです。  
実際、窓口を開設して、どのくらいの方が訪れていますか。
- 事務局 全体の件数が66件というのがありますが、個別の件数は把握できておりません。
- 委員 この説明の会に欠席していたので質問ですが、この相談窓口は平日のみでしょうか。
- 事務局 そうです。平日の市役所の開庁時です。
- 委員 職員の勤務の関係もあるとは思いますが、相談されたいと思って、行きやすいのは土日かなと思います。実際、岐阜県は郡上市など全国的に移住定住が増えている県です。銀行では、エブリデープラザや住宅ローン窓口ですとか、土日開いているところがあります。我々、公的機関もそういった視点を考えるといいと思います。  
私ごとですが、瑞浪市に数か月住んで、非常にいいところだと思います。例えば、移住定住というと、単身赴任でたまたま瑞浪市に来て、将来帰っていくけどいいなと思って考える方と、お金に余裕のある方で、都市部に住んでいて、精神的にもアカデミックな方で、ちょっとくらい通勤時間かかっても、精神的な良さを求めていらっしゃる方がいると思います。後者の方では、土日相談ができるといいのではと思いますし、前者の方では意見交換の場を持って、瑞浪市民から見た良さではなく、外部の方から見た良さというのを吸い上げる工夫をされ、発信していくと面白いかなと思います。
- 委員 宣伝になってしまいますが、9月15日に瑞浪市と移住定住のための空き家・空き地バンクの購入者向けの提携ローンを作りました。年収に応じてですが、リフォーム代などを総額で1億円以内なら希望額が出るというものです。移住定住希望者には資金が豊富な方と資金がないけど、田舎に住みたいなという方がいらっしゃると思いますので、こういった便利な口

ーンが出来ましたということで、私たちも PRしていきますし、市の窓口でも。

多分、どこの銀行さんも同じような考えをこれからお持ちだと思いますので、そういうことも PRしていただければと思います。

事務局 空き家関係の移住定住に関しましては、不動産会社さんとも提携を組ませていただいております、不動産会社にも市の情報を提供させていただいて、市も情報もらっています。連携協定を結んでいる中で、銀行さんにも考えていただいて、瑞浪市限定の制度をやっていたら、市の制度も案内して、更にこういう補助制度がありますよと合わせて宣伝できればと思います。

座長 そうですね。そういった取組みが大切ですね。やっぱり幅広く相談できる窓口やツールがあるといいかなと思いますね。

これは、ほとんどの方が発展や見直しとされておりますので、これで確定したいと思います。よろしいでしょうか。

では、続いては「10:移住定住促進奨励金交付事業」について考えをいただきたいと思いますが、いかがですか。

座長 これについては、C をつけさせていただきました。まだ、制度がなかなか知らない方が多いということ、実績が当初の計画を相当下回っていたからです。もっと何かの方法で PRしてはどうかと思いました。最大で50万貰える非常にいい制度だと思いますので。

ただ、他市町村にあるそうですが、一部減税するなどの取組みをされているところもあるそうです。交付することがいいのか、何か税金面で減税するのがいいのか、どちらがいいのかと思いました。

委員 僕の意見としては、まずお金を出すのではなく、「なぜ瑞浪市に住みたいのか」という魅力を作らないといけないと思います。例えば、私も1次産業を瑞浪で発展させるといいと思います。以前、瑞浪の企業で地元を栽培して無農薬で作っていきたくて話していましたが、そのことについては全然進まなくて、そのままになってしまっていますが、土地はたくさんあるので、全国から地元で栽培してくれる希望者を集めて、奨励金なり補助金なりを使ってもいいと思います。

ただ、お金をあげるから来てくださってと言っても、誰も来ないと思います。何のために来るのかと。住むところを決めるのに、お金のために来るわけではないので、一例として企業の話をしたんですが、そういったことが進んでいって魅力を高めていけるといい。

農地を利用して、土地が余っているところはありますし、お米も自分で作っているより委託に出している人が多い。移住希望者に農地の貸出しをするという利用方法もあると思います。

座長 そうですね。お金を出すより、魅力ある街にしていけないと人は集まってこない。この制度はまだ続きますかね。

事務局 平成31年度まで続きます。

座長 計画でいうと、結構な額ですよ。

事務局 申込みの件数があれば、かなりの額になります。

座長 その目標申込みに達していないですからね。事業の継続はもちろんだと思いますが、ほかの見直しの方法があればということだとは思いますが。

委員 私も継続にしましたが、若い方、他の市町村にいる方に話しても、お金をもらっても引越したくないという方はいます。やっぱり通勤等で便利な場所に住みたいという気持ちがありますね。継続にしましたが、通勤圏内の会社等に働きかけるとか、見直して継続してもらえるといいかなと。

委員 先般新聞の記事でアイシン AW がソニーの跡地に進出されるというのを見ました。移住定住、人口増加に関してはとても追い風になると思いますが、どんな感じに参入されるのかまだ情報は入ってきていませんが、他県や他市町村からいらっしゃると思います。こういった機会に交付金や相談窓口業務などを発展させて、瑞浪を広めていくいいチャンスだと思います。

委員 9、10、11 番の3つとも移住定住に関する事だと思えます。考えるのは、すべてがかみ合っていないかなければならないということ、この 10 番に関しては資金的な援助という視点はなくてはならないものだと思いますので、これは継続していくべきだと思います。そもそもの瑞浪の魅力はどう作るのかというところ。今おっしゃっていたアイシン AW もそうですが、隣接する他市と取り合っても意味がないので、他地域から来てもらうという発想の方がいいと思います。

正直何が一番良いのかというのは難しいです。今良くて将来的に必ずいいとは限りませんし。でも、他市に住んでいる私の視点から言うと、他市には大きな商業施設があったりしますが、住みたいと思うのは瑞浪市です。瑞浪市は落ち着いていて、近場に凝縮された町があるという魅力を感じます。派手なことも必要かもしれないですが、きちんとまちの魅力を伝えるというような地道な活動も必要だと思いますし、瑞浪には大学があるという魅力もある。そういった良いところをもっと。

座長 そうですね。

この事業については、一部見直しをしながら継続ということをお願いします。

続きまして「11:移住定住情報発信事業」について、これも似た内容になっておりますが、いかがでしょうか。

やっぱりきちんとした情報が発信できていないので少ないのかもしれないし、魅力が伝

わりきっていないので少ないのかもしれない。

委員 情報発信というと若者が中心かなと。瑞浪には大学がありますし、高校も、全国的に知られている麗澤高校もあります。若い方の力で発信できると思います。

座長 少し聞いたんですが、今若者はインスタグラムを使っていて、1万人以上のフォロワーを持っている方をインフルエンサーと呼ぶそうです。名古屋の大学生で17万人のフォロワーを持っている子に情報発信をさせると、一気に拡散すると聞きました。テレビで紹介されていましたが、その方が発信した情報に皆に知れ渡ると。今は、フェイスブックやツイッターよりインスタグラムが主流だそうです。これからはそういった時代なのかなと。  
特に観光の場合ですと、関市の『モネの池』はインスタグラムで拡散されたそうです。

委員 今、恵那市のクリスタルパークで天使の羽が書いてありますが、全国的に注目されているそうです。先週の土曜日に行くと、その写真を撮るためだけに訪れていました。そういった発信は大きいですね。

座長 大きいですよ。瑞浪市の魅力をそういったもので発信できると思いますよ。

委員 昨日、ラジオで聞きましたが、岐阜市がインスタグラムを始められたと聞きました。市がインスタグラムをやってもいいんだと。あれは観光誘致のために市が発信すると聞きました。

委員 それと関連して、撮り鉄の方をよく見かけます。釜戸で毎週のように同じ場所で見かけるので、聞いてみると宮城県から夏休みを利用してきたと。なぜ来るかと言えば、貨物列車の2両連結が全国的に見ればとても珍しいそうです。それを撮りに来ています。そういったことが、地元では知らないけど、そういった趣味の方には有名ということもあるそうです。  
季節によって撮れる写真も違うので、時期を狙ってくる方もいます。

座長 いかにか情報発信していくかということですね。  
この間、飛騨古川に視察に行ってきました。それが、なんでもない田んぼ道をサイクリングするだけの1万円のツアーに外国人が年間3千人から4千人も来ているそうです。食事も何も付いてませんし、特に何もない道を回ってくるだけですが、それがいいと言って評判の観光になっているそうです。  
やっぱりうまく情報を発信すると、そこに移住する方が増えてくると。  
その方も奈良県生まれ、他県の大学へ行って、飛騨古川に定住しているそうです。

委員 瑞浪市も結構サイクリングやっている方いますよね。同じように車置く場所があつて、荷物を預かってくれるところがあれば、瑞浪にもいっぱい遊べるところがあると思います。

委員 瑞浪市は結構有名な方もいらっしゃると思いますよね。そういった方の講演会を行う等、そういった文化的な魅力も高めていけるといいと思います。

座長 そうですね。そういったことをして、魅力を高めて、移住定住に繋がっていくということでしょうね。

委員 今年、市民協働課がパンフレットを作られて、銀行のATMコーナーに置いてありますが、銀行のパンフレットもある中で、実はこのパンフレットだけが一度なくなっていました。前年度はそれほどでもなかったですが、今年度新しくなったものはとても分かりやすく書いてあり、皆さん手に取っていかれます。ほとんど地元の方だと思いますが、これをもっと他市や他県に置けば、もっと手に取っていただけたと思いますし、瑞浪市を知っていただけたと思います。非常によくできた冊子だと思いますので、活用してほしいと思います。

委員 銀行は他市、他県にもあるので、そこに置くということではできないですか。

委員 そういったことも考えましたが、瑞浪市だけを置くと、他の市町村も同じようにしなければならぬので、難しいということになりました。

ただ、昨年1度大阪支店で岐阜県の PR として、市ごとに期間を設けてロビー展を行いました。市民協働課さんからポスターやパンフレットをお借りして大阪へ送り、1週間ほど展示しました。

座長 はい、ありがとうございます。意見も出揃ったようなので、次の12番に移っていきます。「12: 三世代同居・近居世帯定住奨励金交付事業」について、いかがでしょうか。

委員 三世代ということを考えるときに、二世帯同居が出来れば自然と三世代に移っていけると思います。自分の地域でも高齢者だけの世帯というのが増えていますので、一気に三世代ということはちょっと難しいのではと思いますので、まず二世帯からはじまって、新築・改築等の支援が出来たら、そこから繋がっていくのではないかと思います。

座長 ありがとうございます。

三世代になる前に、二世帯を目指すということですね。

事業の継続はしていただきたいですが、やり方を少しという感じですね。

まったく、他の移住定住と比べて交付が少ないですので、何かもっと方策があればと思います。では、こちらも改善継続という形でよろしいでしょうか。

では、次の「13: 東濃圏広域観光 PR 事業」について、いかがでしょうか。

委員 先日9月に、当行と岐阜県が連携して、東濃5市の PR を行いましたが、そこにマスコミ関係の方をお呼びして開催した時、どんなところに人が集まるかと思って見ていたら、やっぱり食べ物に集まってきました。瑞浪からはポーノパークを出したので、非常に人気でし

た。そこに何かヒントがあるのかなと思いました。各市、多種多様なものを出していて、それぞれの魅力をあまりかぶらないように見せていくことで、東海地区の企業やマスコミに紹介しても効果的だと感じました。

またちょっと別ですが、瑞浪市のパンフレットもそこに設置していましたが、ポーノパークに集まってきた方がパンフレットを持っていかれたので、食べ物によって呼び込んで、興味を持っていただいて、効果が出ると思います。

座長 何かその他ご意見ありますか。

やっぱり、いまおっしゃったように単独でやるというのは限界がありますし、広域で連携してPRしていくと良いと思いますし、観光事業というのはインスタグラム等を活用していくのがこれからの時代ではないかと思います。瑞浪市は史跡などいいところたくさんあるので、そこを発信していけるといいと思います。

こちらは、みなさん継続で評価をつけていただいておりますので、よろしいでしょうか。

では、14番目の「大湫宿保存事業」に移りたいと思います。いかがでしょうか。

十六銀行さんは清掃行っていましたよね。

委員 そうですね。なかなか建物の痛みが激しいので、厳しいものがあるかと思いますが、もう少し皆さんの協力を得て、やっていきたいと思います。

ただ、大湫宿の景観として、丸森が1つあるより、2つ並ぶことによって景観がとても良くなるなどは思います。

委員 前回、私も清掃に行きましたが、1回でできることは少なくて、私も相当赤土だらけになりました。次回は、大学の学生でボランティアに行きたいという声が9名ほどありましたので、参加したいと思います。

30日にもオオクテ・ツクルテも行ってきましたが、まだまだ大湫宿で観光客がお金を落とすといってくれる施設が少ないです。もう少しそういった施設があると、あそこを通った方が素通りではなくて、何かお店に入ってお金を落とすところまで発展することが大切かなと思います。

座長 清掃はどのくらいの間隔で行っているんですか。

委員 冬季は行いませんが、2ヶ月に1回ほどです。

座長 たくさんボランティアの方々に掃除や、再生をやってみえますね。これはみなさん共通で、発展、継続で評価していただきっておりますので、それで決定したいと思います。

最後になります「15:創業支援事業計画推進事業」について、よろしくお願ひします。

私の個人的な意見ですが、これはもっともっとやっていただきたいと思います。なかなか、知られてないこともありますし、企画にきっちり合わせようとすると難しいと、使えそうで使えない。先に事業に着手してしますと使えないというところがあるみたいですので。

委員 年に何回か創業についてのご相談を受けますが、市の制度は先に投資をしてしまうのはダメなんです。まずは市の承認を取らないといけません。市の決裁が下りるまでにやりたいというお客様もいらっしゃいます。ただ、去年は早い者勝ちで補助金が終わってしまいました。今年も募集していますので、その変更はいいと思いました。

ただ、もう少し簡素になるといいと思います。

ある方は、市の制度ではなく、もっと簡単な制度を利用されていました。企業にもさまざまな事情がありますので、補助金もいらないからと言って、起業される方もいます。

座長 昔、銀行は実績がある会社にしか融資しなかったのですが、今はどこの銀行や、市、国が創業を支援しておりますので、手厚く始めることができます。さらに瑞浪市は他市に類を見ない補助金制度がありますので、もうちょっと使い勝手の良い制度に変えていただくと嬉しいです。ぜひ継続していただきたいです。

商工会議所でも、今とても廃業が多いです。3月の申告時に廃業される方が多くて、順番に企業が衰退してしまいますので、こういった創業に対する支援は大切だと思います。

委員 おっしゃられていたように、この制度では支払ってしまったのを融資することはできず、補助金で使ってもらいものになり、事業を始める方に話しても分かっていただけないことがありました。領収書を持ってきてもらって払ってあげられるのが一番良いと思いますが、融資というのはなかなかそうはいかない。その入り口をしっかりと説明しないとうまく使っていただけない。有効活用するために、それを分かっていただけるように説明していきたい。

座長 これで15事業すべて終了いたしました。

全体を通してご意見があればお聞きしたいと思います。よろしいでしょうか。

<質疑なし>

座長 それでは、今回を最終回としまして、私から市長に意見書を提出していきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

事務局は何かよろしいでしょうか。

事務局 事務局からの連絡事項はありません。

座長がおっしゃいましたが、今回で総合戦略会議は終了となります。皆さまにおかれましては、ご多用の中ご出席いただき、評価をしていただきありがとうございました。

総合戦略は、人口減少時代に入り、人口減少をいかに緩やかにして、子育て環境や働きやすい環境、または高齢者が安心して暮らせる環境など、全てのことを網羅した上で、人口減少に歯止めをかけようというものでして、すべて事業を評価していただくのは無理です。15の事業を抜粋して評価していただきました。最終的な目的として、皆さんの満足度、いかに住みやすいまちかということに視点を置いておりますので、会議の中でご意見いた

いただいたものを担当課の方へフィードバックして、検討させていただきます。  
本当にありがとうございました。  
では、最後は座長に閉めていただきたいと思います。

座長

本日貴重なご意見をいただきありがとうございました。  
これをもちまして、今年度のまち・ひと・しごと創生総合戦略会議を終了いたします。  
色々な意見をいただきましたので、それを持って意見書を出させていただきます。改善していただくところはして、継続をしていただく事業は続けていただくようにしてもらいたいと思います。  
本日は本当にありがとうございました。

事務局

これをもちまして、今年度のまち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を終了いたします。  
本日はありがとうございました。